

江北町

議会だより

令和7年
6月定例会
令和7(2025)年
8月1日発行
.....

No. 175

CONTENTS

- 役場組織・機構の見直し
- 一般質問（9人）
- 各常任委員会Q&A／条例改正
人事／議長交際費
- 編集後記

編集・発行／佐賀県江北町議会広報特別委員会

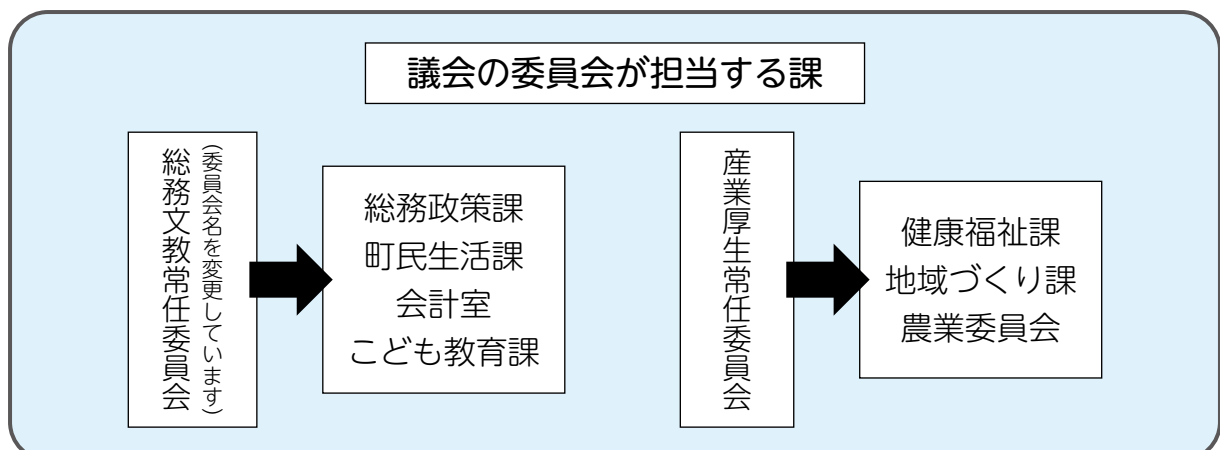
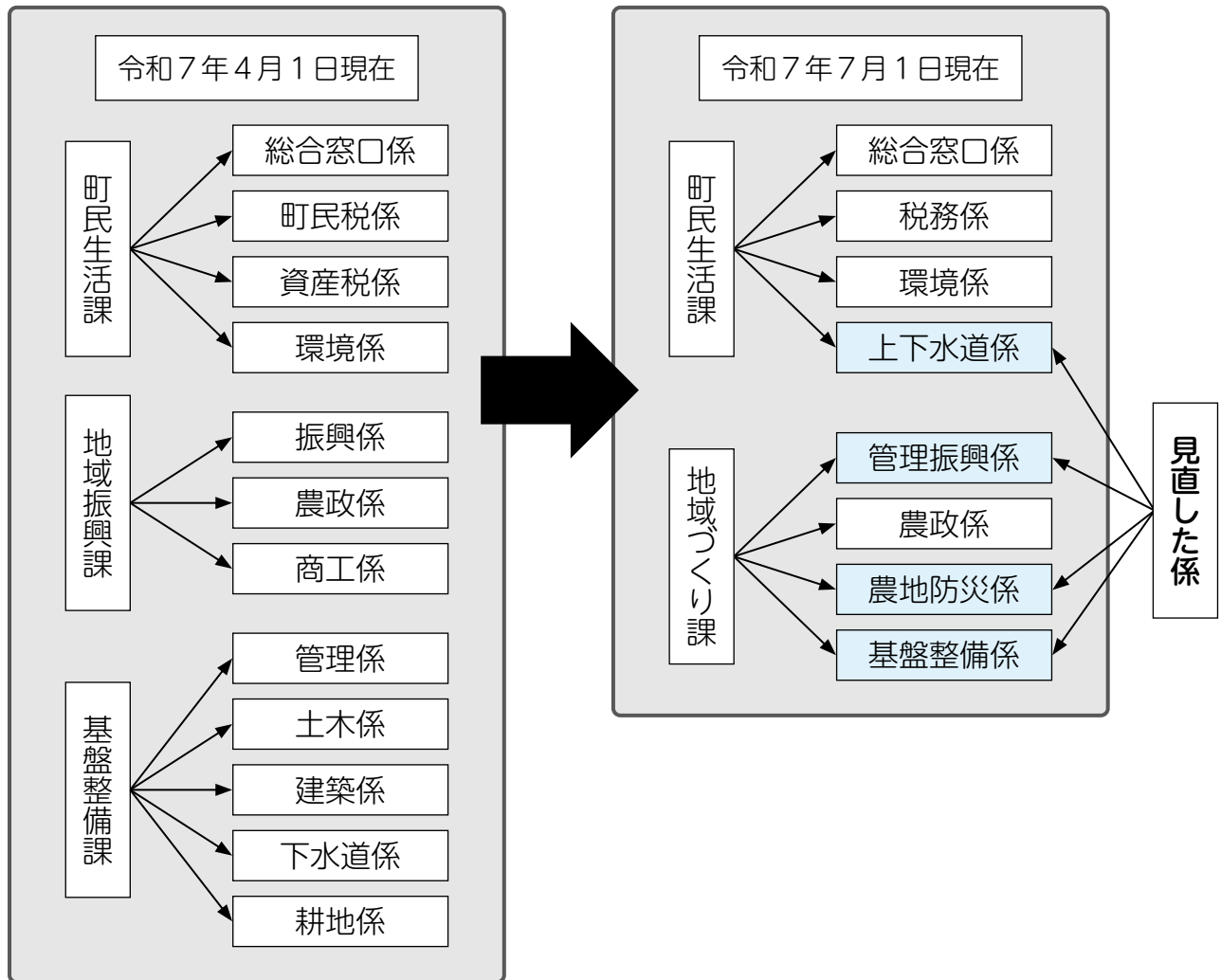
コウノトリと里山は、お互いに深く関わっています。「里の鳥」であるコウノトリが持続して暮らしていくには、その里に暮らす人々の稲作農業が密接に関係しています。

餌となるカエルなど多くの生き物を育む農業が基幹産業でもある江北町に飛来したのでしょうか。

役場組織・機構の見直し

町は7月より、多様な町民ニーズや直面する行政課題に迅速かつ柔軟に対応し、質の高い行政サービスを提供するため、組織・機構の見直しを行い、組織を管理運営する「ライン職」に当たる「課長・課長代理・係長」と同格のスタッフ職の職位として「参事・主幹・主任」を新たに設けた。

- ① 基盤整備課と地域振興課を統合し、「地域づくり課」を新設
- ② 基盤整備課の下水道に関することを町民生活課所管とし、「上下水道係」を設置



酒井 明子
さかい あきこ
議員



誰一人取り残されない学びの保障(不登校児童・生徒への支援)の強化を求める

こども教育課長 教育支援センターのホームページを6月中にアップし、外部機関との定期的な連携強化を図る

議員 全国では、特性のある子ども達だけでなく何らかの心理的、情緒的、身体的、社会的要因、家庭環境等様々な背景により学校に行きたくても行けない、休みがちになっている不登校児童生徒が急増し、その数は34万人となった。町は、第3期子ども・子育て支援事業計画を策定され、その基本目標の中に「教育支援センター」を掲げ、4月から開設された。不登校児童・生徒の第3の居場所「教育支援センター」の説明を。

こども教育課長 不登校児童・生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善などのために相談・適応指導を行うことで、社会的自立に資することを目的とした施設。子ども達が疲れた心を休め

たり、悩みを相談しながら、自分のペースで安心して学習や体験活動をする居場所。パソコン(eスポーツ・ゲーム)ハンモック等を設置している。

議員 江北小学校・中学校の不登校児童生徒の数は。

こども教育課長 令和6年度病欠を除く年間30日以上欠席の人数は、小学校11名、中学校14名計25名。

議員 教育支援センターの場所、開所日時、構成メンバー、利用者数は。



教育支援センター 室内

こども教育課長 教育支援センターの場所は、役場裏郷土資料館3階。開所日時は、水曜日を除く平日の9時から15時まで。長期休暇中も開所。所長(こども教育課長)指導員2名で構成。利用人数は登録者数3名(小学生2名、中学生1名)見学・相談件数は保護者や教育関係者を含め43件。

議員 教育支援センターの取り組み内容は。

こども教育課長 相談員と共に自分でスケジュールを組み、タブレットによるドリル学習、漫画やゲーム・バーチャル空間での交流を楽しんでいる。今後は、野菜づくり等の体験学習も行う予定。

議員 教育支援センターの機能強化、周知・SNS活用、ホームページ開設を求む。

こども教育課長 ホームページは6月中にアップ予定。保護者、学校関係者、スクールソーシャルワーカーなどの情報提供手段としてLINEを活用。学校、外部機関との定期的な連携強化、指導員の困り事を放置しない環境づくりを図る。

議員 燃えるごみの袋が裂けやすいとの声がある。改善を求める。

町民生活課長 今後は佐賀市のごみ袋を参考にし、裂けにくい厚み、素材に変更し、燃えるごみ袋を作成する。

町民生活課長 「エキ・キタ」の賑わいと熱中症予防対策を求む

地域振興課長 役場駐車場を土日解放する

議員 新しく4店舗が出店するエキ・キタの賑わい創出のため駐車場確保と熱中症予防対策を求める。

地域振興課長 役場駐車場を土日解放することで駐車場不足を解消するよう計画している。また、熱中症対策としてミスト、日よけ、雨除けの設置を予定している。

古賀 里美 議員



町民に身近な地区集会所(公民館)を町の指定避難所に

町長 指定避難所とはいかないまでも、身近な一次避難所として町の避難体制の中に位置づけることは大事

総務政策課長 平成26年に災害対策基本法が改正され、施行令で指定避難所の基準が規定された。その基準を満たしている町の公共施設(山口地区)11か所

※指定避難所一覧

小学校体育館	場所は今まで「山口地区内」
老人福祉センター	中学校体育館
老人福祉センター別館	幼児教育センター
江北町公民館	こどもセンター
ネイブル	さわやかスポーツセンター
保健センター	B&Gトレーニングセンター

議員 町の指定避難所(11か所)は山口地区に集中している。移動手段のない高齢者、移動に支援が必要な町民が避難できないという事態も考え、身近な場所を避難所として確保することは喫緊の課題。現在の指定避難所配置、数は適正だと思うか。



身近な地区集会所を避難所に

議員 八町、惣領分地区から山口地区にある指定避難所への移動は時間を要する。各地区の集会所(公民館)は、概ね畳敷で、キッチン・トイレ・照明・空調等が整備されている。町民に身近な集会所(公民館)を指定避難所にできないのか。

議員 町は暑さ対策として熱中症避難所を開設している。大変意義のある施策だが、集会所の開放、運営等は、区長、分館長、地域のボランティアの方々にとっていただいております。地域の善意と協力によって支えられている。運営にかかわる方々に謝礼や報酬を支払うことができないか。

また、今後運営を支援する予定はあるか。

総務政策課長 令和6年度より地区集会所を熱中症避難所として開設いただき、昨年度は、16地区15か所で延べ2千人を超える方にご利用いただいた。行政だけで対応するには限界があり、地域の安全は地域で守るという共助の取り組みとして地区で対応していただいていると理解している。

町長 地域任せになっ

い。町と地域で一緒に取り組んでいるという意識でいる。今後も改善、検証すべきことがでてくる。各避難所の運営状況をよく見ていきたい。

リチウムイオン電池による火災事故防止と分別回収体制は

町民生活課長 新たにごみ分別ガイドブックを作成し、周知、啓発を行う

議員 近年、全国的にリチウムイオン電池による火災事故が増加しているが、町で事例があるか。

町民生活課長 現在、町内でリチウムイオン電池に起因する火災事故は発生していない。

議員 リチウムイオン電池の回収方法は、

町民生活課長 衝撃、

熱を加える、水に濡れる等すると発火するリスクがあるため、適切な管理ができる役場内で回収を行っている。



リチウムイオン電池が使用されているもの

議員 リチウムイオン電池の危険性を町民へ周知しているか。

町民生活課長 新たに

ごみ分別ガイドブックを作成し、全戸に配布し、周知、啓発を行う。また、町に転入されてこられた方には、窓口で危険性等について十分説明を行っている。

田村 康
議員



上小田地区の住環境改善は

こども教育課長 集会所等整備補助金申請の検討をお願いする

基盤整備課長 樹木伐採は、電線の管理者に対応をお願いする

こども教育課長 日ノ出地区公民館に出向き、現状を確認している。トイレの簡易水栓への変更は「集会所等整備補助金」の改修工事に該当するため、申



老朽化が進む 公民館

議員 上小田地区は高齢化が進み、特に日ノ出区では様々な問題を抱えている。地区公民館は傷みがひどく、玄関のベニヤは落ち、扉や鍵も閉まらず雨漏りもしている。トイレはくみ取り式のため、女性の方々は公民館のトイレを使用されていない。町はこのような現状を把握されているのか。この現状を解決するための何か良い方法はあるのか。



電線が絡まった危険な大木

請の検討をお願いしたい。改修工事費用30万以上が対象で、補助率は、経費の2分の1以内、補助限度額は、100万円。

議員 日ノ出区公民館裏に電線が絡まった大木があり、非常に危険な状態。町で伐採することはできないか。

基盤整備課長 電線が絡まった樹木は、電線の管理者に対応をお願いする。また、公民館周辺の大木は、町有地に生息していれば町で対応する。個人所有の場合、所有者に適切な管理を依頼していく。

本年4月にヤマト運輸が操業を開始され、今後はさらに交通量が増加し、事故の危険性が高くなる。信号機設置の要望書を警察へ提出されたが、その結果は



交通量が多い交差点（東分）

議員 国道207号と町道東分く下惣線が合流する交差点は、朝夕通勤、通学のために交通量が多い。また、

交差点の信号機設置を求める

町長 今年度中の信号機の設置は困難なため、町としての安全対策を実施したい

議員 移転された上小田商店街入り口バス停には、屋根がない。上小田3地区から熱中症

町長 町で早めに設置をする

上小田商店街入口バス停に屋根、ベンチの設置を

どうなっているのか。

町長 信号機設置について警察をお願いしているが、県内各所からの要望が多く、順番待ちの状態のため今年度中の設置は困難な状況。信号機が設置されるまでは、町としてできる安全対策工事を実施したい。



雨に濡れながらバスに乗る子供たち

対策として、バス停に屋根、ベンチの設置を求める要望書を提出されている。これから梅雨に入るが、屋根がないため子供たちは雨に濡れ、また高齢者、体の不自由な方々は、上小田団地の階段に座ってバスを待っているような状態。

屋根、ベンチを早急に設置してほしいが。

町長 上小田商店街入り口バス停は、乗降者が多いが、バス会社は、今後屋根を設置しない方針のため、町で早めに設置をする。

江頭 義彦 議員
えがしら よしひこ



小・中学校の早急な安全対策の実施を

こども教育課長 6月議会で予算を補正し、対応する

議員 小学校の教室の蛍光灯の数は、殆どが6灯で、1年3組と3年3組だけが、3灯追加されて9灯になっている。9灯になった理由は。



教室中央に、増設された蛍光灯

こども教育課長 教室棟北側の校舎、1階中央階段を挟んで両サイドの2教室で日当たりが悪い時間が長くなっていたため、平成13年度に増設し、9灯とした。

議員 教室を見学し、暗く感じたが、現状の照度で児童・生徒の視力に問題はないのか。
こども教育課長 文部科学省の調査結果による

と、佐賀県、江北町とも裸眼視力1.0以下の児童・生徒の割合が増えている。ばらつきはあるものの、小学校で約4割、中学校で約6割が視力1.0以下になっているが、全国、県と比較しても大差はない。照度による視力への問題はないと考えている。

議員 小・中学校の照明のLED化を早急にお願いしたいが。

こども教育課長 小学校は、今6月議会で予算を補正し対応する予定。中学校は、令和8年度当初に予算を計上する予定である。また、小学校は、今回LED化することで照度が上がるため、照明の数を6灯から9灯に数を増やす計画はない。
議員 特別支援学級は、現在パーティションで区切られただけの教室があり、環境改善が必要ではないか。

要ではないか。
また、階段、渡り廊下等の雨漏りの修繕に早急に取り組んでいたきたいが、どうか。



パーティションで区切られた教室

こども教育課長 パーティションで仕切る理由は、同じ教室で特性や関係が合わない児童への配慮。また、感情のコントロールをするための場所、カームダウンコーナー（気持ちを落ち着かせ、気を静める空間）確保するためにパーティションを活用している。
また、中央廊下の雨漏りは、対応する予算

を今議会で計上し、補修する予定。

町長 パーティションで区切るのではなく、教室をきちんと確保すべきだが、全国的に特別支援クラスが増加し、教室が不足する傾向にある。国がこの問題に着目し、基準づくりをしていただきたい。

農繁期の農道通行を考える

基盤整備課長 案内看板や注意看板等を設置する

議員 鳴江河畔公園へ向かう農道の通行を農繁期だけでも制限することはできないか。

基盤整備課長 一時的な通行制限は難しい。案内看板や農耕車注意などの注意看板等を設置し、農道を迂回してもらう方法を考えている。



“通行はご遠慮下さい” 看板

議員 町民の方に農繁期だけでも放送や回覧板で通行制限の呼びかけができないか。
基盤整備課長 町外からの来園も多く、町内放送や回覧板での通行制限の周知は難しい。
議員 農道に離合箇所を設ける手立ても考えてほしいが、どうか。
基盤整備課長 離合箇所を設けるためには、農地の所有者、耕作者の方との交渉が必要。まずは、公園利用者への周知が必要だと考えている。

三苦 紀美子 議員



エキ・キタ 2 期目を迎えるにあたっての取り組みは

地域振興課長

賑わい復活に向け、土曜日を統一営業日に
駐車場不足解消のため役場駐車場を土・日開放する

議員 令和4年に開業した「エキ・キタ」は、今年は3年ごとに見直しを行う年となっていると思うが、一期目の総括を。また、総括の結果を今後どう反映していくのか。

地域振興課長

一期目の反省点は、賑わい不足。駐車場不足。トイレ、共有スペースの管理問題等である。今後の対策は、にぎわい復活に向けては、毎週土曜日を統一営業日とし、全店舗が営業する計画。駐車場不足は、役場駐車場を土・日開放し、対応予定。トイレ、共有スペースの管理は、店舗数が減少し組合費での維持管理が困難であったため経費を町が負担するよう改めた。

議員 新しい店舗の開店はどうなっているか。

町長 駅北口周辺のにぎわい復活のために取り組んだのがエキ・キ

タの整備。町としては大きなチャレンジと位置づけている。二期目から3店（ネイルサロン、ハーリーラテ、衣料・雑貨店）の新しい店舗の入居が決定している。



賑わい復活を願う エキ・キタ

町道花祭村内線 地滑り対策は

基盤整備課長
工事着手後、約2年の工期を見込んでいます。

議員 花祭のブルーシートの取り扱いについて令和6年度中何度か質問してきたが、補

修はなく残念だった。災害査定を早急に受け、工事着手していただきたい。地元の方も早期完了を待たれている中、状況説明をされているのか。

また、最終的な工事完了までにどのくらいかかるのか。

基盤整備課長

今後、国の災害審査を受け、査定結果によって工事内容、工事期間等の詳細な事業内容が示される。その後、地元説明を行う予定。災害査定結果により工事に着手できた場合は、工事完了まで約2年の工事期間を見込んでいます。

東古川排水機場 堆積土砂撤去は

基盤整備課長
河川浚渫は、今後河川事務所と協議

議員

東古川排水施設



浚渫工事完了 東古川排水機場

議員 今回の浚渫工事の範囲は。

基盤整備課長

土地改良施設維持管理適正化事業を活用し、町有地の範囲内で浚渫を行った。前回の浚渫から24

流入部の堆積土にヨシが繁茂し、通水を阻害するとして伐採、堆積土の浚渫工事をされたが、工事について、関係機関（県・国交省・樋管管理者等）と協議されたか。

基盤整備課長

関係機関と協議し、今後は武雄河川事務所へ堆積土の浚渫について要望を行っている。

小・中学生の 挨拶について

教育長
挨拶は、人との関わり

議員 以前、小・中学生の挨拶の充実を求める要望をしたところ、改善がみられたが、最近またことも達から挨拶の声が聞こえない。挨拶に対する考えは。

教育長 小学校では挨拶は、基本的な生活習慣の一つとして道徳教育の中で人との関わりに関するものとして指導している。中学校では、挨拶は社会生活の基本であり、授業の開始、終了、部活動の時等折を見て指導している。

土淵 茂勝 議員
どろぶち しげかつ



補聴器購入費助成は緊急な課題 来年度からの実施を求める

町長 担当課の意見を聞き、自分が決める時期がくると思う

議員 加齢性難聴の高齢者の補聴器購入費助成の質問は、これまで4回行われてきた。

令和5年9月議会で私が初めて質問した時点では補聴器購入費助成を実施していた市町は191市町だったが、令和7年2月時点では383市町と、2倍まで増加している。佐賀県では、基山町が初めて4月1日から助成事業を開始された。質問のきっかけは、80歳を超えるご婦人から国民年金だけでは補聴器は買えない。集音器を買い替え使用しており、大変困っているとの声を耳にしたからだ。高齢者の切実な願いを実現するため補聴器購入費助成は緊急な課題である。再度検討を求めるとともに、来年度からの実施を求める。

健康福祉課長 補聴器

の使用が認知症の予防



補聴器購入費助成を求める

や進行抑制に寄与する可能性は近年注目されているが、現段階では、科学的エビデンス（根拠）が確立されていない。現時点ですぐに町独自の購入費助成制度を導入することは難しい。

町長 担当課がやるべき事業だと思わないことを私が無理強いすることはできない。担当課の意見を尊重すべきだと思う。担当課で継続的に検討、情報収集をしているのでその意見を聞き、自分が決める時期がくるのではと思っています。

後期高齢者にも 人間ドック・脳ドック助成を

町長 研究させていただきたい

議員 国民健康保険加入者には人間ドック・

脳ドック助成があるが、75歳以降が加入する後期高齢者医療保険では助成制度がない。後期高齢者で医療費支払額が一番多い疾患が骨折、2番目が脳梗塞、町でも脳梗塞が3番目に多い疾患となっている。重症化リスクを軽減するため、また高額な費用がかかる脳ドック・人間ドックを後期高齢者が安心して受診できるように、町単独での助成を求める。

健康福祉課長 後期高齢者の場合、後期高齢者健診とがん検診を組み合わせて受診いただくことで、人間ドック

と同等の検査項目を受診できる体制が確保されている。後期高齢者のドック助成の在り方は引き続き研究していきたい。

町長 脳ドックは健診対象にはなっていない、また、やはり人間ドックを受けたいという後期高齢者の方の希望に添えていないという問題が現状ある。また、後期高齢者に対する人間ドック助成は廃止される傾向にある等そういった現状をまず研究させていただきたい。後期高齢者の方の健康をしっかりと管理することは大事だと思う。

佐留志団地 入居者募集 再開を求める

町長 募集再開はしない

議員 佐留志団地は、新たな入居者募集をせず、順次用途廃止する方針となっているが、リフォームし、住宅困窮者、被災された方々が一時的に居住できる緊急避難的な住宅として利用することはできないか。

町長 入居者募集の再開はしないが、災害に遭われた方に緊急避難の場として提供する、政策的な空き家としては利用していきたい。ただ、既に全て退去された棟は、放置せず解体して、整理することも大事だと思う。

池田 和幸
いけだ かずゆき
議員

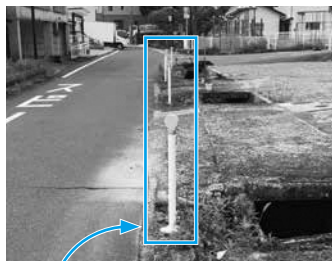


門前～畑川線の道路改良の予定は

基盤整備課長

応急的な対策として反射板を設置
今後、道路幅員も含めて更なる安全対策の検討を行う

基盤整備課長 計画の
対象外であり、6年度



反射板が設置された危険な箇所

議員 この区間はなぜ
交通安全対策事業の対象とならなかったのか。

議員 12月議会の再質問で、通学路安全対策事業（門前～畑川線）の拡幅工事対象外の箇所（永林寺保育園～白木酒店間）への対応を質問したが、その後検討はされたのか。

基盤整備課長 4月に各関係課と歩行者の安全対策として点検を実施し、その後、応急的な対策として反射板の設置を行った。今後、道路幅員も含めて、更なる安全対策の検討を行っていききたい。

議員 永林寺～白木酒店までの区間については、安全性確保のため、是非対策をお願いしたいが。

町長 のり面がそのままの水路で、夜間は特に危険なため、応急的な安全対策として反射板を付けるよう指示した。あくまでも応急的な対策のためもう一度確認する必要がある。

議員 再質問の二つ目、観音下区内で離合が困難な狭い道路について、「検討する時間を頂きたい」と答弁されたが、その結果は。

基盤整備課長 町内の道路整備に対する要望箇所を現在整理している。具体的な整備検討はこれからの予定。

議員 地区の区長さんからの要望に対する回答、説明を行ったか。



離合ができない検討箇所

基盤整備課長 整備方針が決定次第、説明をしたい。

議員 道路拡幅のためとして一部の区間で土地が寄附されているにも関わらず、今まで何の対応もないが。

基盤整備課長 寄附を頂いた土地だけでは不足するため、隣接部の農地も含めて検討する必要があります。

議員 検討に時間がかかりすぎているのではないか。

町長 要望に対し、早めに回答するよう職員に徹底しているが、それが身についておらずお詫びする以外ない。

建設業を巡る状況は

基盤整備課長 経営規模等評価結果
通知書で、経営状況を確認している

議員 今、建設業界は、慢性的な人手不足、技術者の高齢化など、様々な課題を抱えている。町内の建設業を取り巻く環境について町は、把握しているか。

基盤整備課長 町が発注する公共工事の推移は、令和3年度と6年度の発注額を比較すると、約1/2程度工事費が減少している。

議員 町では各業者の事業経営状況をどのように確認されているか。

基盤整備課長 入札参加資格申請の際に町へ提出した「経営規模等評価結果通知書」等で経営状況を確認している。

議員 建友会は、町の災害対応等に協力いただいているが、会員数が減少している。今後、町にも影響があると思うが対策はあるか。

町長 建友会の活動には感謝している。今後業者が減少した場合、新しい時代の仕組みとして役場が直営で担う時代が来ると思う。

議員 入札の際、地元業者への対応は。

副町長 指名委員会に諮る際は、請負える町内業者があれば優先し選定する方針。町で発注する事業は、できれば町内の事業者にといいう思いで業者選定をしている。

西原好文 議員

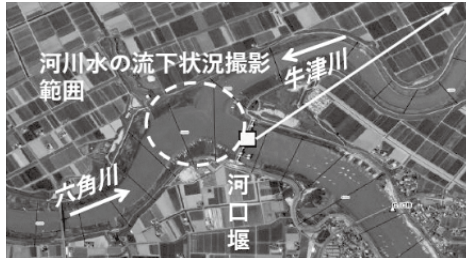


再度見直す必要あり 町の排水対策

町長 内水氾濫対策は、本当にポンプの増強しかないのか
庁内で課題として考えていく

議員 六角川と牛津川の合流点における流下状況調査結果は、武雄河川事務所から町へ報告があるか。

基盤整備課長 調査は、ウェブカメラを用い、出水期（6月～9月）に24時間画像撮影し、実施されている。六角川水系流域治水協議会で撮影した画像による報告が行われている。



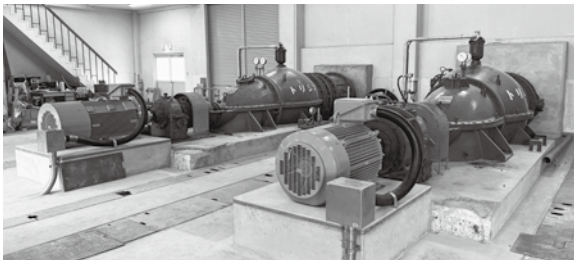
引用：六角川水系流域治水協議会 会議資料

町長 六角川と牛津川との合流地点の水位変動については、今後も調査を継続すると報告

を受けた。これからも引き続き監視が必要な箇所としてきちんと位置付けられていると思う。

議員 内水氾濫対策としてポンプの増強がでないか。

基盤整備課長 内水氾濫対策は、計画降雨を用いて定量的な検証に基づく対策が必要。内水解析による内水被害の軽減効果を把握することが重要であり、ポンプの増強は今のところ考えていない。



城ノ井排水機場 ポンプ駆動部のモーター化完了

議員 事前落水だけでは、令和元年、3年のような豪雨による内水氾濫は防げない。ポンプの増強が必要ではないか。

町長 本当にポンプの増強しかないのかということは、庁内で課題として考えていく。また、事前落水の方法についても今後検討する余地があると感じている。

議員 大町町、小城市との実務者協議は進んでいるのか。

町長 実務者協議が小城市（牛津川関連）と大町町（高良川関連）と設置されているが、まだ会議は開かれていない。

議員 実務者協議については数年前からお願をしてきたにもかかわらず、開催されていないのは遺憾である。

町長 他市町から来る水が我が町に被害をも

たらしている。内水氾濫の多くは町外からの内水であることを踏まえ、小城市、大町町と今後、交渉を進めていきたい。

議員 江口・正徳区から、永田地区の操作員さんとの協議をという要望が出ているが。

町長 町として大きな課題であるため、きちんと情報共有をし、しっかりとリーダーシップをとって進めていきたい。

老人福祉センター、今後の計画は

町長 この施設をどうするかについて最終的な方針を出したい

議員 老人福祉センターは、建設から45年以上経過し、建物の劣化度診断結果は、総合判定でC(D)判定となっている。避難所と

しても使用しており早急な対応が必要と思うが。



老朽化がすすむ老人福祉センター

町長 老朽化しているからと言って本当に立て替えるべきなのか、また、老人福祉センターがもつ機能や建物について考える時期に来ている。施設をどうするかについては、今年度中に最終的な方針を出したい。

検討の際は、社協の事業の見直し、維持管理コスト、仮に建て替えた場合のコスト等総合的に勘案して今の施設をどうするのか結論を出したい。

田中宏之
たなかひろゆき
議員



事前落水時のゲート操作員の安全確保は万全に

町長 安全対策は必要不可欠だと思う
各施設の点検をしていきたい

議員 町は大雨が降ると予想された場合、各水系の担当者に事前に水路やため池の水位を下げてもらうよう要請し、未然に浸水被害から町を守っている。事前落水の取り組みは、各水系の関係者、ゲート操作員等の協力により成り立っている。操作員は、事前落水のため、夜中や落雷の中といった危険な状況下でゲートの操作をせざるを得ない場合も想定されるが、操作員に対する補償はあるのか。

総務政策課長 ゲート操作員65名の安全確保のため、傷害保険に加入している。事前落水のための作業中の事故等が補償の対象となる。

議員 操作員の高齢化が進みゲート操作が大変だという意見に配慮し、今年度、町負担で4か所のゲートを電動化する予定だが、今後



ゲート電動化装置

の計画はどんなっているのか。

地域振興課長 今年度は、町内4水系の樋管に近いゲート4か所を電動化し、次年度以降は、地元協議や現地踏査等により、落水の実施に必要なゲートの洗い出しを行う予定である。

町長 電動化を進めていきたいが、現在、業者が量産できる体制がない。町としても業者と協力し、量産できる体制を整えたい。

議員 佐留志水系だけがポンプ場内に自然落水用のゲートがある。ポンプ場内に設置されているにも関わらず、柵等の安全対策が何もされていない。操作員の安全確保のため早急な対策が必要だと思うが町の考えは。

町長 地元の方から相談を受け、すぐに担当課が現地確認をしている。9月に予算を補正し、対策をする予定。また、他の施設も一度点検したい。安全対策



柵設置等、早急な安全対策を

は必要不可欠だと思う。

議員 古川水系の長江湖樋管は、操作に行くまでに危険な箇所があり、武雄河川事務所以前から改修を要望しているが進展がない。町の考えは。

基盤整備課長 以前から上流側に階段を付けて欲しいと要望があり河川事務所には話しているが方向性はでない。再度、要望を行う。また、内側の水路の安全対策は現地確認し、町で対応を検討したい。



階段もなく、危険な長江湖樋管

議員 上小田二本松制水門の水路は狭く、大雨の際は、この水路に水が溜まり上流は氾濫する。今後予定されている多久江北線バイパス工事の際に県へ関連工事として改修を要望できないか。

基盤整備課長 町からも水路拡張の要望をしているが、明確な回答はない。県で道路整備による排水計画、水路への影響を検証している。ただ、町からは道路整備に伴う関連工事として要望していきたい。



改修が必要 上小田二本松制水門

総務文教
常任委員会

問 今回の組織の見直しで、係の数が減少するが詳細について説明を。

総務政策課長 今回の

組織・機構の見直しで、ハード面とソフト面の両面を一体的に推進するため、基盤整備課と地域振興課を統合して「地域づくり課」を新設し、併せて係の見直しを行う。

また、生活基盤の一体的な管理を行うため、下水道に関する事務と個別排水処理に関する事務を町民生活課の所管とする。

問 今回の職位の変更について説明を。

総務政策課長 職務分

担制度を見直し、事務処理を専門的に行うスタッフ職の職位として「参事・主幹・主任」を新たに設けた。



第8部格納庫と新しくなる消防車

問 第3分団第8部に小型動力ポンプ付積載車を導入予定だが、新しい車両のため必ず団員に操作指導、また放水訓練を実施していたいただきたいが、どうか。

安全安心係長 新たな

車両の導入後、団員に各種操作の指導、水源を使つての放水訓練を行うようにしていきたい。

問 新たな車両を導入する第8部は、今年度格納庫の建て替えが予定されているが、現在の進捗状況は。

安全安心係長 設計を協議する中で電柱を移設する必要があることが分かり、現在関係機関と調整中。設計業務は、4カ月から5カ月を予定しており、年内には完了する予定。

問 令和8年度以降、コミュニティ助成事業の申請方式を見直しされるが、どのように変更となるのか。

総務政策課長代理 各地

区ごとに申請していたが、3ブロック（①上小田・下小田②佐留志・惣領分③山口・八町）に分ける。1地区あたりの申請額は、100万円未満、1ブロックの上限は、250万円以下とする。見直しは、区長会へ説明し協議をいただく。現在は申請内容をブロックごとに協議している。

総務文教常任委員会
町内視察

6月12日、当委員会に付託された議案、及び関連した議件について所管課職員とともに現地視察をおこなった。

◆第3分団第8部
消防格納庫

新たに小型動力ポンプ付積載車が配備される予定の格納庫を視察。今後、建替えが予定されているため配備される車両を考慮し、設計を進めていく必要がある。



第8部格納庫 老朽化が進み建替え予定

◆門前く畑川線

一般質問で夜間の通行が危険なため対応が必要と指摘をされた永林寺保育園付近の道路を視察。既に対策として反射板が設置されていた。安全対策が講じられており、一歩前進したと思うが、今後も改善が必要などところがあるため引き続き対応を見守る。



安全対策として反射板が設置された

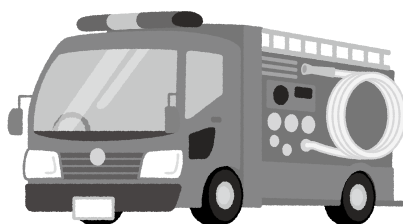
財産の取得に
関する契約

財産の取得に関する契約について、議会で審議し、2議案とも全員賛成で可決した。

①江北町消防団小型動力ポンプ付積載車（第3分団第8部に配備）

●契約金額

1034万5500円



②江北町学校給食センター調理室備品（真空王冷却機他）

●契約金額

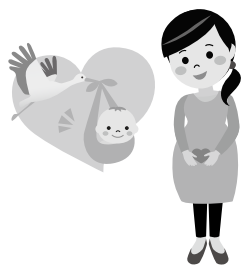
1001万円

産業厚生
常任委員会

問 令和7年4月から開始された「妊婦支援給付金」について説明を。

健康福祉課長 令和4

年度から始まった「出産・子育て応援交付金事業」が今回、国の制度として、妊婦の身体的、精神的、経済的負担を軽減する、妊婦のための支援給付事業に変更された。給付内容は、妊婦であることの認定後に5万円、妊娠していることものの人数の届け出後に5万円が支給される。



妊婦のための支援強化

問 妊婦支援給付金は、流産・死産であっても支給されるのか。

健康福祉課長 給付金

は、流産・死産であっても支給される。申請は、医療機関において流産等の事実確認を受けた日以降に支給申請をすることができ。

問 さが園芸88整備支援事業補助金の内容について説明を。

地域振興課長代理

にじゅうまるを栽培するビニールハウス建設費用に対する補助金。以前アスパラガス栽培に使用されていたハウスを再利用し建設される。

問 門前地区のハウス団地は、まだ1区画入植者がいないが、現状は。

地域振興課長代理

問い合わせはあるが、まだ入植者は決まっていない。町としては、長期的に就農いただける方に入植していただきたいと考えており、引き続き募集していく。

産業厚生常任委員会
町内視察

6月12日、当委員会に付託された議案、及び関連した議件について所管課職員とともに現地視察をおこなった。

◆柳谷川第三砂防

県が実施している、門前地区の柳谷第三砂防堰堤工事を視察。全体事業費4億2千万円、堰堤は完成し、現在は溪流保全工事が進められていた。



堰堤工事完了

◆上小田二本松制水門

水路の幅が狭い箇所があり、豪雨で水が道路に溢れる問題がある。今後県へ水路拡幅の要望が必要な箇所。



水門の先が狭い



◆長江湖排水樋管

樋管までの通路が危険だったが、改善が図られていた。



改善が図られる箇所

条例改正

- 江北町課設置条例の一部を改正する条例（賛成多数で可決）
- 江北町子育て支援条例の一部を改正する条例（賛成多数で可決）
- 江北町議会委員会条例の一部を改正する条例（賛成多数で可決）

固定資産評価審査委員会委員の選任について

横町 一氏（再任）
藤瀬 繁雄 氏（新任）
《任期：議会同意の日から3年間》
以上2名の選任について、全員賛成で同意

議長交際費の公表

議長が町議会を代表し、対外活動などのために支出した交際費を公表します。

○ 交際費支出状況（令和7年4月、6月支出）

項目	件数	支出額
会費	3	15,000
ご祝儀	4	20,000
弔意費	1	35,000
合計	8	70,000

犯罪の発生がない町に！

白石地区防犯協会発行 令和6年度「生活安全白書」より

「生活安全白書」では、『管内における刑法犯のうち約7割を窃盗犯が占めており、自転車盗や空き巣、車上ねらいなどについては「無施錠」での被害が極めて多いことから、地域の方に「確実な施錠」を意識付けていく必要がある』と書かれています。

犯罪の発生状況

	総数	うち 罪 種 別 窃 盗 犯 発 生 状 況					
		窃盗犯	万引き	自転車盗	車上ねらい	忍込み	倉庫荒し
令和6年	142	104	12	11	11	5	6
令和5年	137	95	11	10	4	0	1

無施錠の被害状況

	忍込み			車上ねらい			自転車盗		
	発生	無施錠	無施錠率	発生	無施錠	無施錠率	発生	無施錠	無施錠率
令和6年	5	5	100%	11	8	73%	11	8	73%
令和5年	0	0	0%	4	4	100%	10	9	90%

二セ電話詐欺・SNS利用詐欺の被害状況

令和6年中、二セ電話詐欺の県内の被害発生件数は157件、被害総額は約2億9千万円で、昨年に比べ件数は12件減少し、金額は約3億7千万円減少している。

令和6年中、SNS利用詐欺の県内の被害発生件数は120件、被害総額は約7億2千万円で、昨年に比べ件数は56件増加し、金額は約2億7千万円増加している。

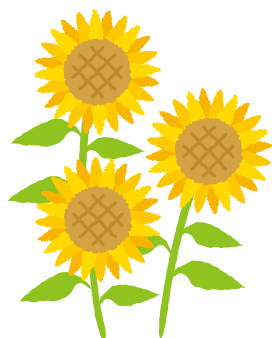
白石地区防犯協会は、白石町・江北町・大町町および賛助会員（37団体）により、安全安心のための各種事業を行っています。町民の皆さんが、安心して生活できるように議会も取組めます！

編集後記

新しいメンバーで活動している広報委員会も丸2年が経ちました。一般質問、特別委員会及び常任委員会の構成。また文書に必要な写真撮影。議会だよりに目を向けて頂けるよう、約1週間、議会委員会室での作業を行っています。

今後も町民の皆様に読んで頂けるような議会だよりを編集していきます。

（池田）



議会広報委員会

委員長
副委員長

池田 和幸
土淵 茂勝
田村 康
古賀 里美
酒井 明子